

養老桜とアートの小径プロジェクト (文化と芸術の里づくり)



千葉県市原市

まちづくり桜植樹プロジェクト(桜さんさん会)

① 社会資本の概要

養老川は、清澄山（千葉県大多喜町）に源を発し、県内を北上して市原市を縦断し、市原市五井地先で東京湾に注ぐ二級河川です。

当会が活動している三和地区は養老川中流域に位置しており、周辺は美しい田園風景に恵まれ、奈良・平安時代以前の史跡も多数点在しています。また、



養老川沿いに広がる桜並木



養老川に浮かぶ川船（復元模型）

② 取組の背景、取組概要と創意・工夫

平成 16 年度に市原市の市民提案事業として養老川沿いの桜の植樹が提案され、その実施団体として当会を設立しました。

4 地区計 2.2km の区間に約 200 本の桜を植樹するとともに、多くの方に愛着を持ってもらえるよう、近隣の小中学生が詠った詩歌の掲示や、植樹した桜への里親の想いを記載したミニ看板の取り付けを行っています。

また、桜並木の間に設置する芸術的オブジェは、芸術家などによる選定委員会で選ばれたもので、今後 20 ～ 30 年かけてさらに充実させていく予定です。

万葉集で詠われた養老川河口付近の情景の歌詞看板の設置や、養老川の水運で活躍した川船の復元模型の制作など、養老川の歴史を次の世代に伝える取り組みも行っています。



養老川や桜の美しさを詠った詩歌を掲載した事業説明看板



里親の想いを記載したミニ看板は植樹した全ての桜に設置



オブジェは地元の方々が好きものを選定している

③ 活動の成果や波及効果等

「文化と芸術の里づくり」という共通の夢を持った仲間ができ、活動を継続してきた結果、以前とは見違えるような景観となり、遊歩道を往来する人達が年々増えてきています。今後の桜並木の成長や設置オブジェの増加により、来訪者は更に増加していくと思われます。

また、永年にわたる地道な活動に感銘を受けた作詞家により、桜の手入れする人達の願いや苦労を表現した歌「養老桜」が作られるなど、活動に対する賛同・支援も増えています。



景観維持のため樹木管理や草取りを欠かさず実施



養老川沿いに設置された歌詞看板と除幕式の様子

●● 喜びの声 ●●



受賞者

まちづくり桜植樹プロジェクト（桜さんさん会）
代表 河内 昌蔵

コメント

事業を開始して、来年で 15 年目を迎えますが、多くの仲間や関係者のご協力・ご支援のお陰で、このような大きな賞が頂けたことを大変感謝しています。

今後この活動を更に次の世代へ繋げ、多くの方々から喜ばれる「文化と芸術の里」をつくりたいと思います。

活動の内容

河川敷の景観整備（桜の植樹、芸術的オブジェの設置、除草活動）など

活動の経緯

平成 17 年 市原市の市民提案事業として桜の植樹活動開始
平成 25 年 オブジェの設置事業開始
平成 28 年 川船の復元模型の制作・設置

所在地

千葉県市原市（三和地区）

活動主体及び連絡先

まちづくり桜植樹プロジェクト（桜さんさん会）
(0436-36-8573 代表 河内 昌蔵)

対象となる社会資本

養老川中流域の河川敷
※管理者：千葉県市原土木事務所

